

すくすく育て

乳 幼 児 健 診

平成23年12月9日=千寿苑 平成23年12月16日=蘇陽総合支所



※保護者のご承諾をいただいた赤ちゃんを、撮影・掲載しています。

矢部高野球部OB 憧れの甲子園に立つ ~マスタース甲子園 2011~



憧れの甲子園に初出場で初勝利を果たした矢部高野球部OBのみなさん

ついに甲子園の土を踏む夢が実現。矢部高校野球部OBが、憧れの「甲子園球場」で、当時のような輝く目で白球を追いかけました。

8月の県OB大会での優勝後から、昭和53年から10年間野球部を指導した桑野功監督のもとで、毎週1回の猛練習。矢部高野球部のグラウンドを借り、まとめ役の山本敏朗さんを中心に「怠慢プレーは叱咤」「好プレーは賞賛」をモットーにして、硬球に慣れるために、また現役時代に少しも近づかぬために練習を重ねました。

そして迎えた12月24日の大会当日。兵庫県の阪神甲子園球場に、先頭で入場行進した矢部高OB。プラカードを持ち選手を先導したのは、夏の甲子園でもプラカードを持つ、神戸市立西宮高校のOG。スタンドには神戸市立須磨翔風高校吹奏楽部の応援演奏。選手の心は否が応でも盛り上がります。

そして、試合開始。対戦相手は大阪代表の天王寺高校OB。試合時間1時間30分という限られた時間の中、3回までは34歳以下の選手、それ以降は35歳以上の選手で戦います。序盤は互角の戦い、しかし、5回に岩村文雄選手の2本のランニングホームランなど打線が爆発。一挙に9点を挙げ試合を決めます。8回の表を1失点で抑えた矢部高が大差で、甲子園での初勝利をおさめました。

「最初は緊張していたようですが、憧れの舞台とあって実力以上のものが発揮できました。選手はとても感動して、また(甲子園出場を)目指したいと言っていました。」と、自身も甲子園のマウンドを経験した山本さん。

OB会の新開猛人会長は「今回の出場に際し、たくさんの方の支援をいただき感謝しています。おかげで夢を実現できました。現在の矢部高野球部に少しでも希望を与えられたのではないのでしょうか。」と感謝の気持ちを話してくれました。

マスタース甲子園

全国の高校野球OB・OGが世代などの壁を越え出身校別の同窓会チームを結成し、全員共通の憧れであり野球の原点でもあった「甲子園球場」で白球を追いかける夢の舞台を目指す大会。2004年から毎年開催されている、日本のフィールドオブドリームス。

試合結果

	一	二	三	四	五	六	七	八	計
天王寺	1	2	0	0	0	0	0	1	4
矢部	2	0	2	0	9	0	1	×	14

ぼく、わたし、虫歯なかったよ~4歳児歯科健診~

